



# 奥大山江府学園通信

## 第6号

令和3年4月

江府町義務教育学校設置準備委員会事務局（江府町教育委員会事務局内）

## 義務教育学校の設置について 議会で可決されました！

3月24日（水）に行われた江府町議会3月定例会において、江府町立中学校等設置条例の全部改正案が可決されました。これにより、来年の令和4年度から江府小学校と江府中学校が一緒になり、義務教育学校 奥大山江府学園が誕生することが正式に決定しました。

今後は、1年生から9年生までの9年間の学習内容や行事の内容、保育園や地域との連携、PTA組織や制服のことなど、様々なことについてしっかりと検討を進めて準備をしていきます。



### ＜奥大山江府学園の概要＞

#### 1 学校の形態 義務教育学校

※1人の校長の指導の下、1～9年生が1つの学校に学ぶ。

（管理職：校長1人、副校長1人、教頭1人）

#### 2 施設の型 施設分離型

・「ブナの森校舎」（現江府小学校）：1～5年生が通学

・「日野川校舎」（現江府中学校）：6～9年生が通学

#### 3 校訓 しなやかな心と体 自立・敬愛・剛健・創造

※保小中一貫教育目標

「ふるさとに夢を描き、

まち・ひと・みらいとつながる江府っ子」

◇学びをつなぐ：学力・体力・健康・感性の育成

◇学校・家庭・地域をつなぐ：ふるさとへの愛着を育む

◇心をつなぐ：人権尊重・自己肯定感・協働の精神の涵養

#### 4 校章



#### 【デザインの説明】

江府町のシンボルの木、ブナの葉と大山を図案化して描き、希望の象徴虹でもあり清らかな川の流れでもある帯と重ね合わせた。更にその周囲に5人の児童生徒が手をつないでいる様子を描いた。

奥大山江府学園の児童生徒が携え、協力し合い、地域の中で育まれ希望に向かって成長し、いつの日か自分の花を咲かせてほしいという思いを込めた。

#### 5 特徴的な取組

・施設分離型の特徴を生かし、節目を付け上級学校に向かう姿勢を培う。

※ブナの森校舎→自由服、日野川校舎→制服

・5・4制にすることで、6年生段階から受験に向かう上級生に日常的に触れることにより、精神的発達を促し、キャリア意識等を持ちながら学習に向かわせる。

・主に5・6年生を中心に、教科の専門性を持った教師による指導を行う教科担任制を推進。

・ふるさと教育に軸足を置いた特設の教科（仮称：ふるさと魅力発信科）を設定し、ふるさとを愛する心情を養うとともに、表現力やコミュニケーション力など自ら発信する力を育てる。

・1～9年生合同の行事（例：体育祭・運動会）を開催し、上学年は思いやりや優しさを、下学年はあこがれや目標に向かう気持ちを育む。



### 小中連携授業スタート！

本年度、江府中学校の教職員が江府小学校の教科指導に年間を通して入ります。中学校の教職員が小学校で単独で授業する場合と、小学校の担任と一緒に学習指導を行うチームティーチングの形をとる場合の2通りがあります。

小学校と中学校の教職員の連携も活発になり、9年間を見据えた指導を行っていく意識がさらに高まることで、教育効果も高まると期待できます。

#### ＜連携授業＞

- 佐城先生・・・6年生の社会
- 松本先生・・・6年生の算数
- 北垣先生・・・6年生の家庭科
- 渡邊先生・・・3～6年生の図画工作
- 荒金先生・・・3年生の体育



#### 【お問合せ】

江府町義務教育学校設置準備委員会事務局  
（江府町教育委員会事務局内） ☎75-2223